

日 誌 (昭和44年9月)

【国 内】

- 1 日 ○全国銀行協会連合会、公定歩合の引上げに対応し、市中貸出金利の年利建移行と簡素化を決定(9月号「要録」参照)
- 9 日 ○物価対策閣僚協議会、当面の物価安定対策の基本的方向を決定
- 12日 ○本行、農林中央金庫に対する準備預金制度の適用を決定(16日から実施、「要録」参照)
- 19日 ○佐藤首相、経済審議会に対し、新しい経済社会発展計画の策定を諮問。
- 22日 ○本行、為銀の対外ポジション改善のための売戻条件付債券買入れの実施を決定(「要録」参照)

【海 外】

- 1 日 ○フランス、消費者信用規制強化を実施(8月28日発表)
- スイス、市中貸出規制を実施
- 3 日 ○フランス、フラン切下げ後の経済再建策を発表
- 10日 ○アジア開銀、初のマルク債発行協定(60百万マルク)を締結
- オーストリア、公定歩合を引上げ(3.75→4.75%、11日から実施)
- 11日 ○西ドイツ、公定歩合を引上げ(5.0→6.0%、即日実施)
- コスイギン・周恩来会談、北京で開催
- 12日 ○スイス、公定歩合を引上げ(3.0→3.75%、15日から実施)
- 17日 ○ロンドン手形交換所加盟銀行ならびにスコットランド系銀行、貸出金利を0.5%引上げ
- ベルギー、公定歩合を引上げ(7.0→7.5%、18日から実施)
- 19日 ○IMF、対フランス・スタンドバイ取決めを承認(総額985百万ドル)
- 23日 ○シュバイツァーIMF専務理事、特別引出権の発動(1970年35億ドル、71、72年各30億ドル)を提案
- 25日 ○西ドイツ、外国為替市場を閉鎖
- チェコスロバキア共産党中央委総会(27日まで)でチュルニーク内閣改造
- 26日 ○フランス、IMFスタンドバイ5億ドルを引出し
- ノルウェー、公定歩合を引上げ(3.5→4.5%、27日から実施)
- 28日 ○西ドイツ、総選挙で社会民主党(SPD)進出
- 29日 ○IMF・世銀年次総会、ワシントンで開催(10月3日まで)
- 西ドイツ、外国為替市場を再開、1時間半後に再開鎖
- 西ドイツ、一時的なマルク変動為替相場制実施を決定(30日から実施)